

成人の日はハッピーマンデー制度により、1月の第2月曜日に。1999年（平成11年）までは1月15日。1月15日は小正月、かつて元服の儀が小正月に行われていたからのようです。2000年からは1月第2月曜日、つまり、その年の1月8日から14日までのうち月曜日に該当する日に変更されました。2022年4月1日から成人対象者が18歳に変更、高校3年生中心で、就職・進学・部活動で忙しく、参加が難しい対象者が多いことから、同年3月31日以前の成人対象者だった20歳を維持、「20歳の集い」として開催する自治体が殆どであるとのこと。そうだったのですね。

（ウィキペディアより 最終更新 2024年1月7日（日）16:04・菅野）

目次

- 1 「令和6年能登半島地震」における労働者健康安全機構の支援活動について
- 2 【180-2】コラム---「爆発・火災に繋がる静電気放電って何？」
- 3 関連情報

1 「令和6年能登半島地震」における労働者健康安全機構の支援活動について

<https://www.johas.go.jp/tabid/2392/Default.aspx>

この度の「令和6年能登半島地震」により、石川県能登地方で甚大な被害が発生しております。謹んで犠牲になられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます。

労働者健康安全機構は、令和6年1月1日（月）16時10分に発生した「令和6年能登半島地震」に対し、支援活動を開始するとともに理事長を本部長とした災害対策本部を設置いたしました。当機構の支援活動の状況は以下のとおりです。

労働者健康安全機構は、引き続き支援活動に取り組んでまいります。

（1）DMAT等活動状況

○DMAT派遣状況：3病院 延べ3チームを派遣～東北、中部、和歌山労災病院

DMAT活動内容はこちら <https://www.johas.go.jp/tabid/2393/Default.aspx>

○災害支援ナース派遣状況：2病院 延べ3名を派遣予定～富山、大阪労災病院

（2）産業保健総合支援センターの支援活動

被災された住民の方（事業者、労働者及びその家族等）からの、メンタルヘルスに関する相談及び健康不安に関する相談に対応するための電話相談窓口を設置しております。今後のメンタルヘルスに関する相談及び健康不安に関する相談については、フリーダイヤル、または全国の産業保健総合支援センターまでお問い合わせください。

「自然災害又は大規模な事故等による災害被災者のための心の相談ダイヤル」

○フリーダイヤル 0120-200-826

○受付日時 平日 10時～17時（土日祝日を除く）

○石川産業保健総合支援センター 076-265-3888

○受付日時 平日 13時30分～16時30分（土日祝日を除く）

【受付状況】後日お知らせいたします。

2 【180-2】 コラム---「爆発・火災に繋がる静電気放電って何？」

(電気安全研究グループ 部長 崔 光石)

産業現場では粉体原料を含む絶縁物を広く使用するため、静電気放電が発生しやすく思いがけない火災・爆発災害に繋がることなくありません。当コラムでは静電気に起因する災害を防止する上で最も大事な項目である「静電気放電」(電界強度が媒質の絶縁破壊電界強度に達したときに起こる現象で、一般的に空気中で電界強度が 3 MV/m 以上になると起こる現象) について詳しくご紹介します。

↓↓↓ 以下のリンク先で内容をご覧ください。 ↓↓↓

https://www.jniosh.johas.go.jp/publication/mail_mag/2023/180-column-1.html

5つの静電気放電の特徴を理解することは静電気災害防止対策を行う際に重要です。なお、静電気放電の種類と着火能力について表1にまとめましたので、参考にしてください。最後に改めて強調すると、接地不良になった金属からは静電気災害を引き起こす可能性が極めて高い火花放電が発生するため、必ず、全ての金属は接地するように気をつけてください。

種類	例	放電エネルギー	着火能力
コロナ放電	接地した尖った金属が帯電物体に近づくとときに発生	数十 μ J まで	水素などを除く可燃物の着火源にはならない
ブラシ放電	比較的大きな曲率半径を持つ接地金属が帯電した絶縁物に近づくとときに発生	4 mJ 程度まで	ガス・蒸気, 粉体 ^注
火花放電	接地不良の金属に導体が近づくとときに発生	1 J 程度まで	ガス・蒸気, 粉体
コーン放電	粉体をサイロに連続大量充填するときに発生	数十 mJ 程度	ガス・蒸気, 粉体
沿面放電	背面接地金属にコーティングされた絶縁性フィルムが極めて帯電したときに発生	数十 J 程度まで	ガス・蒸気, 粉体

表1 各種の静電気放電とその着火能力

^注 粉じんの着火源としては議論中だが、可能性を完全には否定できない。

<労働安全衛生総合研究所より>

3 関連情報

◇ 厚生労働省▼△新着情報配信サービス から

(1) 通知・事務連絡等 (石川県能登地方を震源とする地震)

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=U7XzbTMc262skpfBY>

(2) 石川県能登地方を震源とする地震について

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=n3k9G3k3cjySkqANY>

(3) 「医薬品の販売制度に関する検討会」の「とりまとめ」を公表します

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=W735373ztvhWVknjY>

厚生労働省では、今後、本とりまとめに記載された具体的な方策を踏まえ、検討を進めていく予定です。

公表資料

- 1) [概要資料 \[1.3MB\]](#)
- 2) [医薬品の販売制度に関する検討会とりまとめ \[1010KB\]](#)

(4) 在宅酸素療法における火気の取扱いについて

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=R6HgH-KGkq5owDjVY>

○ 「在宅酸素療法時は、たばこ等の火気の取扱いにご注意下さい。」 [279KB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/11125000/001122470.pdf>

(5) 令和6年度全国安全週間のスローガンを募集します

https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=rUs2vITFRkgJ6u0_Y

厚生労働省は、令和6年度全国安全週間のスローガンを募集します。

応募締切は令和6年2月9日です。

◇ 【保健指導リソースガイド】 メールマガ から

(1) 「健康日本 21 (第三次)」アクションプラン策定へ始動

実効性を高めるための情報発信のあり方・好事例公開を検討

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/jlhzw6u247q7/cntht64v/>

(2) 肥満・メタボのある人は「メンタルヘルス不調」のリスクが高い

早い段階で保健指導を提供 3つの方法で対策

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/y3hpt4b3dtjs/cntht64v/>

- ・ウォーキングなどの運動でうつ病リスクを減らす
- ・「ホットヨガ」でうつ病を予防・改善
- ・「スマホアプリ」を上手に活用

(3) 「ヘルスリテラシー」に関する国際調査で日本は最下位

健康診断やがん検診の受診控えが課題に

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/r7m0bgx1q3h2/cntht64v/>

日本の生活者のヘルスリテラシー自己評価は、6カ国中もっとも低い5.4点だった。また、医療・健康に関する「情報の収集・判断」「行動」「デジタル活用」「コミュニケーション」の全般で、他国より低い傾向が示された。

また、各国とも「健康寿命を延ばしたい」という人は半数を超えおり、日本も51.2%に上るが、日本では「寿命を延ばしたい」という人が19.4%と少なく、差が大きいことも分かった。

(4) 睡眠を改善するとメンタルヘルスが改善

認知症を予防するのにも有用 【睡眠を改善する7つの方法】

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/bwrvamo0w3a0/cntht64v/>

とくに日本人の睡眠のとり方は、35 ヶ国で最低であることも示された。日本では、平日と休日の睡眠時間に大きな差があり、平日に十分な睡眠をとれないので、休日に「寝だめ」する人が多い傾向があるという。

- 1 快眠は規則正しい生活から
- 2 眠れないときもくよくよ考えない
- 3 睡眠前のカフェインやアルコールの摂取は避ける
- 4 入浴して深部体温を上げる
- 5 リラックスできる方法を取り入れる
- 6 朝は日光を浴びて体内時計のスイッチを入れる
- 7 「睡眠アプリ」を活用する

(5) 女性に多い「骨粗しょう症」 年代別の予防方法をチェックシートや動画で解説

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/10qtnopup2j9/cntht64v/>

◇ J I L P T から

(1) 辰（たつ）年生まれの人口は1,005万人、新成人人口は過去最低を更新／総務省
総務省統計局は12月31日、新年にちなみ2024年1月1日現在の「辰（たつ）年生まれ」の人口と「新成人」の人口推計を発表した。辰（たつ）年生まれの人口は1,005万人で総人口1億2,413万人に占める割合は8.1%。新成人（2005年生まれ・18歳人口）は106万人で、前年比6万人減。新成人人口は過去最低を更新した。

<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/topics/topi1390.html>

▽報道資料

<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/topics/pdf/topics139.pdf>

(2) 第129回労働政策フォーラム（オンライン開催） 申込受付中！

<労働関係図書優秀賞記念企画>

テーマ：仕事と介護の両立—介護離職ゼロに向けた課題

日時：第1部 記念講演 2月1日（木）～5日（月）
第2部 パネルディスカッション 2月5日（月）14:00～16:30

開催方式：Zoom ウェビナー 参加費無料／申込期限1月31日（水）

本フォーラムでは、働きながら家族の介護をしている人に寄り添った地域の支援や、職場・企業における両立支援の取組の現状と課題について議論し、介護離職の防止に向けて何が求められているのか考察します。

https://www.jil.go.jp/event/ro_forum/20240205/index.html?mm=1930

(3) 調査シリーズ No.234

『J I L P T個人パネル調査「仕事と生活、健康に関する調査」(第1回)』

人口減少・少子高齢化、DXの進展や新型コロナウイルス感染症の影響を受けて我が国の社会が変化中、人々の働き方・仕事や生活、健康は、新たな状況・課題に直面しています。また近年、「ウェルビーイング」が注目され、望ましい生き方やそれを実現するための社会経済環境も関心を集めています。これらの状況をふまえ、仕事と生活、健康、ウェルビーイングとの関係を検討するため個人パネル調査を開始しました。

<https://www.jil.go.jp/institute/research/2023/234.html?mm=1929>

(4) 調査シリーズ No.235 『高度プロフェッショナル制度の適用労働者アンケート調査』

「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」により、2019年4月から高度プロフェッショナル制度が施行されました。高度プロフェッショナル制度が適用されている労働者の健康状態や意見、課題等把握のため、アンケート調査を実施しました。同制度適用労働者は、契約期間は「定めがない」が87.0%、賃金算定方法は「年俸制」が81.1%、制度適用前後の健康状態の比較は「変わらない」が80.7%、制度適用について「満足」「やや満足」は合計で87.7%という結果でした。

<https://www.jil.go.jp/institute/research/2023/235.html?mm=1929>

(5) 建設業の人材確保・育成に向けた24年度予算案の概要を公表／厚労省・国交省

厚生労働省と国土交通省は12月25日、建設業の人材確保・育成に向けた2024年度予算案の概要を公表した。建設業技能者のうち、60歳以上の割合が約4分の1を占める一方、29歳以下は約12%と、将来の建設業の担い手確保は急務となっているとし、特に若者や女性の建設業への入職や定着の促進などに重点を置きつつ、処遇改善、働き方改革、生産性向上を一体として進めていくため、「人材確保」「人材育成」「魅力ある職場づくり」の3つに重点を置いた予算案としている。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36957.html

(6) 鉄道係員へのカスタマーハラスメントの現状を把握／国交省

国土交通省は12月22日、2022年度における鉄道係員に対するカスタマーハラスメントの発生件数等を公表した。2022年度の全国の鉄道係員に対する暴力行為発生件数は569件、カスタマーハラスメント発生件数は1,124件。暴力、痴漢などの迷惑行為の現状や各社の取組状況の共有等を目的とするJR及び大手民鉄各社との「迷惑行為に関する連絡会議」で、初めてカスタマーハラスメントの現状について報告されたもの。関係者との連携を強化し、暴力行為やカスタマーハラスメント、痴漢行為の撲滅に向け、取り組みを進めるとしている。

https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo02_hh_000195.html

(7) カスタマーハラスメント防止のため、運送約款を変更／日本交通

日本交通とグループ各社は2023年12月13日に運送約款の一部変更を公表した。「カスタマーハラスメントがあった場合、運転者はカスタマーハラスメントの中止を求め、旅客が応じない場合には、運送の引受け又は継続を拒絶する他、運転者又は当社の判断において警察等へ通報」し、「ハラスメントにより生じた損害の賠償および、慰謝料を請求」する、などの内容。同社の「カスタマーハラスメントへの対応に関する基本方針」では、旅客からの「要求」が不当・悪質なクレーム、いわゆるカスタマーハラスメントと判断される場合、実際に対応する従業員を守るべく、精神的・身体的な苦痛軽減のため、積極的に対応するものと考え、従業員が安全に、安心して勤務できるよう就業環境の維持改善に取り組む、としている。

<https://www.nihon-kotsu-taxi.jp/news/231213/>

▽カスタマーハラスメントへの対応に関する基本方針

<https://www.nihon-kotsu.co.jp/clause/customer-harassment-policy/>

◇ ◆【From_M】 から 情報提供ありがとうございます。

◆154回目の「11日」。

岩手県民から能登にメッセージ「今できることを、あなたのために」

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8cd6c3b4b49f6d46b8619debc8fc6b41c4efc3a4>

◆#岩手から能登へ届けます | 岩手日報 IWATE NIPPO

<https://www.iwate-np.co.jp/page/iwate-noto>

◆【「東日本大震災」から12年10か月】

慰霊に訪れた遺族 「能登半島地震」被災地に思い寄せる（宮城）

<https://news.yahoo.co.jp/articles/9eb457b8e983fcadc8369474ee7955e49f212fb5>

「東日本大震災」から、1月11日で12年10か月。宮城県内の慰霊に訪れた遺族からは、「能登半島地震」の被災地に思いを寄せる声が聞かれた。

◆産業医科大学 産業生態科学研究所 災害産業保健センター |

Disaster Occupational Health Center

<https://dohcuoeh.com/>

○災害時の復旧作業の呼吸器系の健康障害を防ぐために

令和6年能登半島地震で産業医の立場で労働者のためにできること⑩

<https://dohcuoeh.com/notoearthquake10/>

○災害時の過重労働による健康障害を防ぐために 令和6年能登半島地震で産業医の立場で労働者のためにできること⑨

<https://dohcuoeh.com/notoearthquake9/>

○女性に特有の健康影響とその対策（性暴力編） 令和6年能登半島地震で産業医の立場で労働者のためにできること⑧

<https://dohcuoeh.com/notoearthquake8/>

◆衛生対策マニュアル | 東北大学 環境水質工学研究室ホームページ

<https://waterqualitytohoku.com/manual/>

○衛生対策マニュアル更新版_20240109

<https://waterqualitytohoku.com/wp-content/uploads/2024/01/aaa610bc3dcb222f46881809733d19d6.pdf>

◆令和6年能登半島地震による災害復旧業務に従事する職員の健康管理・安全衛生について

<https://www.jalsha.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2024/01/060109-notice.pdf>

◆令和6年能登半島地震に関して 日本環境感染学会

http://www.kankyokansen.org/modules/news/index.php?content_id=537

避難所等に掲示する感染予防啓発ポスター

感染予防のための8か条と療養のポイント (初版)

手指衛生の方法 (初版)

ノロウイルス対策のポイント (初版)

コロナ予防の換気のポスター (初版)

簡易トイレの作り方 (初版)

少ない水で食器・衣類を使う (初版)

◆避難所・車中泊・自宅 寒さ対策とエコノミークラス症候群予防

https://www3.nhk.or.jp/news/special/saigai/basic-knowledge/20240104_01.html

◆災害関連死を防ぐ避難所の運営方法のポイント

https://www3.nhk.or.jp/news/special/saigai/select-news/20240108_02.html

◆“救えたはずの命” 災害関連死を防ぐには

https://www3.nhk.or.jp/news/special/saigai/select-news/20230414_01.html

◆運輸事業従事者のためのメンタルヘルス「こころの健康自己チェック」

【(一財) 運輸振興協会】

<https://www.transport-pf.or.jp/mhc/pc/>

◆がん治療と就労支援の実態：緩和的放射線療法を中心に |

がん情報サイト「オンコロ」 日本放射線腫瘍学会第36回学術大会より

<https://oncology.jp/news/240111ra01>

◆<<動画>>これから始める！化学物質管理の基本

リスクアセスメント対象物健康診断(20分) 滋賀産業保健総合支援センター

<https://www.youtube.com/watch?v=8OSwUrFxxUU>

◆日本産業精神保健学会

<https://www.jsomh.org/>

○第31回日本産業精神保健学会

AI時代と産業精神保健の新しいパラダイム～産業医学の聖地からの発信～

<https://orbit-cs.net/jsomh31/>

【会期】2024年8月24日(土)・25日(日)

オンデマンド配信：9月1日(日)～9月23日(月)

【大会長】吉村 玲児 (産業医科大学医学部 精神医学)

【副会長】江口 尚(産業医科大学 産業生態科学研究所 産業精神保健学研究室)

【テーマ】AI時代と産業精神保健の新しいパラダイム～産業医学の聖地からの発信～

【会場】産業医科大学 ラマツィーニホール (福岡県北九州市)

【参加登録・演題登録】2023年3月1日(金)開始予定

○学会誌電子化について

<https://www.jsomh.org/>

◆2023 Vol.31 No.4

特集「ディーセント・ワークを実現するための精神障害者への就労支援」

<https://www.jsomh.org/magazine/detail.php?id=111>

◆2023 Vol.31 No.3 特集「職場での適用が期待される心理社会的介入の数々」

<https://www.jsomh.org/magazine/detail.php?id=110>

◆2023 Vol.31 Supplement 号 p. S1-S157 第30回日本産業精神保健学会抄録集

<https://www.jsomh.org/magazine/detail.php?id=109>

◆2023 Vol.31 Supplement 号 p. S1-S157 第30回日本産業精神保健学会抄録集

<https://www.jsomh.org/magazine/detail.php?id=109>

◆2023 Vol.31 No.2 特集「働く精神障害者への合理的配慮をめぐって」

<https://www.jsomh.org/magazine/detail.php?id=108>

◆2023 Vol.31 No.1 特集「働く女性の悩みとメンタルヘルス」

<https://www.jsomh.org/magazine/detail.php?id=107>

小野田 富貴子 (両立支援担当)

fukiko-onoda@honbu.johas.go.jp

中山 篤 (メンタルヘルス担当)

atsui78natsu@gmail.com

菅野 由喜子 (メンタルヘルス担当)

yukikan28@gmail.com